

心も身体も健やかで

若い村づくりを



和島村長 早川 平三郎

明けましておめでとうございませう。

本年も村民の皆様が健康で迎年されたことと存じます。昨年、国の内外の経済が不況の波の中に沈んでいた為、私達の生活も大変苦しい年でありました。

国際的には外貨保有高の増、円高ドル安からくる受注減、貿易収支の調整等問題が積滞し、国内的には高度成長時代の残滓即ち構造上からくる不況が重なって昭和五十二年において極れりという感じがいたしました。年間経済成長率も遂に六割を割るに至りました。このような状況にありながら、村の主要事業は、村民各位の御協力によって当初計画どおりに遂行してまいりました。ただその内容を検討いたしますと、決して安易平穩なものではなく、桐島小学校改築を基本施策とした当初予算案決定後、国から勤労者体育施設が内示され、関連事業を含め

た億圓余りの経費は、一般会計で七、七〇〇万円、土地開発公社委託で二、六〇〇万円（土地取得費）を支出することにしたわけであり、更に年度発足後の四月に日本海コンクリート工業株式会社用地の売却という事態に直面して、諸般の事情から之を譲り受けることになり、総額億圓千八百万円、税金を持ち出すことになりましたが、土地開発公社に委託したこの用地の年次計画による買取りも相当大きな額となりますので、多少他の投資を加減してもこの事業を推進することにいたしました。この整地は目下自衛隊に要請中であり、秋の野球シーズンには是非ともオープンさせたいと考えております。

昨年今年と、国や県の特別の御配慮もあって予想以上の事業を計画し実施しているわけであり、これも村民各位並びに議会の厚い御協力があつたればこそと感謝しております。私は本年二月完成予定の体育館と、野球場、更に隣地に立地が計

画される総合グラウンド等一連のスポーツ施設が、村民各位にフルに愛用され、すべての根源となる心と身体、健康増進に役立つことを願っております。豊かで明るい平和な村づくりは何としても健康からであります。

健全な精神は健全な身体に宿るとは昔から言いかわされておりますが、今日程必要な時はないと考えております。最近の巷にみる青少年非行も欲求のはけ口となる施設の貧弱さからといわれ、健全なスポーツが忘れられているからであります。

体育館におけるバレー、バスケット、或は柔剣道とおしてコミニティ、近隣社会が形成され、野球場で汗を流してプレーすることによって、村民特に若い人達の連帯意識が育って行くことと信じます。そして昨年全国青年大会で優勝した剣道と和島チームに続く優秀なスポーツの団体が、この和島村からぞくぞくと誕生してゆくことを期待いたします。

私はこれらの施設の機能がフルに発揮し活用されるよう本年は特に公民館活動の組織に意を用いる所存であります。どうぞ村民各位におかれましてもこの施設を利用されることによって、身も心も豊か、しかも若く健康な村づくりが出来ますようお願い申しあげて年頭のごあいさついたします。

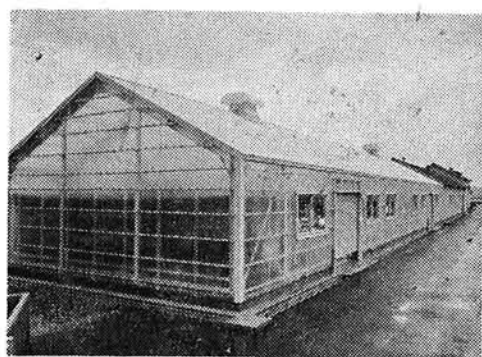
桐島農業協同組合が事業主体となり、昭和五十二年度国の補助事業として進められていた育苗施設が完成しました。

同組合管内の農業情勢は兼業化が進み経営規模に関係なく大型機械を導入しており機械化貧乏等の問題を抱えています。今回の事業は将来農業の安定化を図るため数年前から検討されていたものであります。

今後さらに厳しくなる農業情勢に対して育苗施設・機械の有効利用で生産コストの軽減・良質米の安定収穫が期待されます。導入された機械・設備類は次のとおりです。

- ・育苗施設一式(百ha規模)
- ・田植機四条植八台
- ・コンバイン四条刈り二台

以上のほか機械の格納庫です。



育苗センター完成

桐島農業協同組合が事業主体となり、昭和五十二年度国の補助事業として進められていた育苗施設が完成しました。

同組合管内の農業情勢は兼業化が進み経営規模に関係なく大型機械を導入しており機械化貧乏等の問題を抱えています。今回の事業は将来農業の安定化を図るため数年前から検討されていたものであります。

今後さらに厳しくなる農業情勢に対して育苗施設・機械の有効利用で生産コストの軽減・良質米の安定収穫が期待されます。導入された機械・設備類は次のとおりです。

- ・育苗施設一式(百ha規模)
- ・田植機四条植八台
- ・コンバイン四条刈り二台

以上のほか機械の格納庫です。

ハリ仕事も大丈夫

(荒巻) 関川トキさん 九十七才

年の瀬も近い十二月二十一日、村内の最長老である関川トキさんを訪ねてみました。明治十四年生まれ、さすがに顔のしわは深いけれどもすこぶる健康そう、おばあちゃんと家族の方に聞いてみました。

腰は曲っているが、秋などはアズキ・ダイズの収穫手伝いや家の回りの草とりのほか家の中では雑布縫いをやっているが、今は寒くなってきたのでコタツに入って何もしないでいます。

若い頃は丈夫な方ではなく病気がちな方でしたが最近四、五年間はずいぶんかす医者にもかかっていないので、去年の敬老の日には健康表彰を受けておられます。

歯と目・耳は――
歯は無く耳も遠くなったけれど目の方は針に糸を通すのは眼鏡もいらぬほどです。

起床は――
朝は七時半ころ、寝るのは八時ころで昼でもコタツで横になっていることが多いです。

一日の行動は――
近所のおばあさんとお茶を飲んだりしています仲間が少なくなっています、親せきの人や民生委



員の方が訪ねて来られるのをたのしみにしていられるそうです。子や孫はと尋ねたところ、子供は七人、孫は二十七人、曾孫、玄孫はもう指がたらなく数えたこともないほどだそうです。

最近変わったことは――

八月に長男の文二郎さん(七十才)が亡くなったこと、近所へ嫁つがれ時々遊びに来ておられた長女の小林ハルさん(七十六才)が長岡市の病院へ入院されていることが気になるようで、十月には病院まで見舞いに行つて来られたそうです。

健康の秘けつは――
特別ないけれども、無理をしないうで気楽にしていることと荒巻の水が良いのかも……

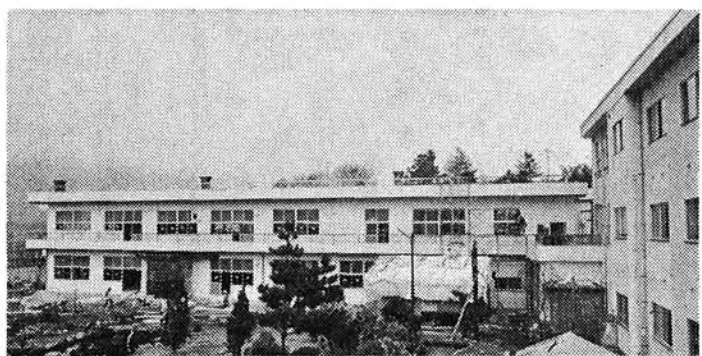
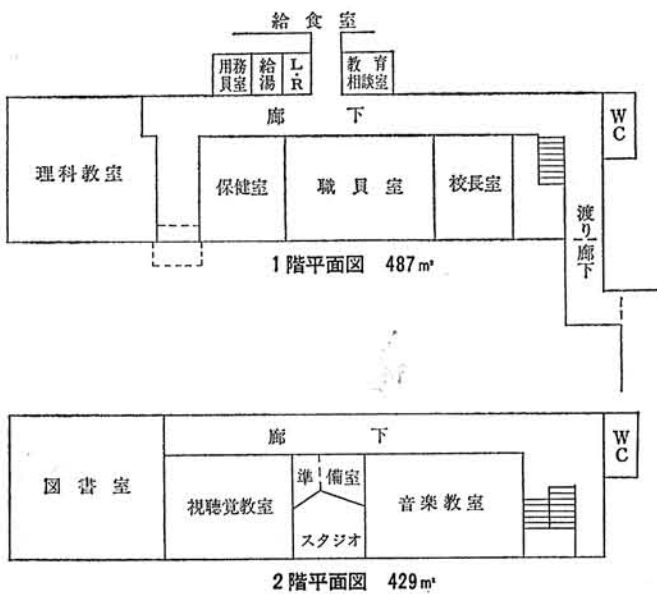
水が良いといわれれば男性の最長老島倉留蔵さんも荒巻です。皆さんも一度荒巻の水を飲んでみてはどうでしょうか。

家族の人たちの補足により、自分のことは何でも自分でやらせ手つたうことは何もなく、また、もの覚えが良いので、事実昔のいろいろな出来ごとをよく記憶しておられました。

とにかく、心身ともに健やかなおばあちゃんです。これからも長生をしてください。

おおづめに来た 桐島小学校改築工事

昨年七月十八日着工以来、急ピッチで進められていた同校の校舎改築工事は、おづづめを迎え、やがて落ち着いた色彩と、採光、日照、通風、音響を配慮した近代的な校舎が完成し、いよいよ三学期から使用する運びとなりました。校舎の内容、平面は次の通りです。



簡易保険と学校

村民のみなさんが、加入しておられる簡易保険が、公共施設の建設のために役立つことを存じでしょうか？

和島村では、現在(昭和五十二年)桐島小学校の建設を行なっていますが、この費用についてみますと、九千五百一十四万一千円の建設費のうち、約四〇パーセント近い三千七百九〇万円を簡易保険積立金より借入れする予定になっています。

これには、次のような理由があるからです。

皆さんが加入され、積み立てておられる簡易保険料は、将来、保険金や配当金として支払いされるまでの間、信託された(お預かりした)大切な財産なので、確実に、有利な方法で、そのうえ公共の利益になるように運用する必要があります。そして、その利益は、加入者の皆さんに還元する(お返しする)こととなっております。

このように、簡易保険事業は、わたしたちの村づくりにも大切な役割をはたしています。

1月の心配ごと相談

日時...25日 午前10時から午後3時まで
場所...福祉センター
内容...生活相談、医療相談、家事相談、児童相談、身障相談、職業相談、その他

成人の一步は 国民年金から

一月十五日は、二十歳となって大人の仲間入りをした若人を祝い、励ます成人式が催されます。わが国では、原則としてだれでもが、国民年金や厚生年金・各種共済組合など、いわゆる公的年金と呼ばれる年金制度のいずれかに加入する「国民皆年金」の仕組がとられています。

ご理解いただけると幸いです。二十歳になったら、ぜひ国民年金に加入して、将来の生活設計をより確かなものにしませう。

- 一月中に 60歳になる人 大正7・1・1~大正7・1・31生まれ
65歳になる人 大正2・1・1~大正2・1・31生まれ
70歳になる人 明治41・1・1~明治41・1・31生まれ



寒さに注意

寒くなると脳卒中、かぜ、神経痛等が多くなります。寒さに気をつけてあったかい春までがんばりましょう。

部屋に寒暖計を

10より下ったらコタツだけでなくストーブ等で部屋全体もあつためます。あつためすぎてかぜをひきやすくなつては困ります。

足元にあったかさを

風呂場、廊下、便所、台所などの足元に敷物を。ストッキングを切って編んだ敷物は乾きやすく冬には最適です。

寝具のしめり気を除いて暖かく

冬は寝具の乾燥はむつかしいものです。古くなった毛布、敷布を畳の上と、かけ布とんの上においてしめりをすませませう。

保育所入所申込み受付

昭和五十三年度の保育所入所申込みを、受付しますから希望の方は、次により申込みして下さい。

- 一、保育対象者 昭和四十七年四月二日から昭和四十九年四月一日までの間に出生した者。
二、申込期間 昭和五十三年一月二〇日から昭和五十三年一月三十一日まで

公民館並びに体育協会よりお知らせ

昭和五十二年度のスポーツ安全協会傷害保険の加入申込期限が近づいていきますので、加入を希望される方は次のことに御留意のうえ早めに申込み下さい。

スポーツ練習について

加入申込みは、同紙(様式は問いません)に「氏名」「性別」「生年月日」「住所」を記入し、保険料(一人百五十円)を添えて体育協会事務局(公民館)へ申込み下さい。

Table with columns for day of the week and sport type (Badminton, Table Tennis, etc.).

水道管の凍結にご用心!

今年も寒い冬がやって来ましたが、お宅の水柱や蛇口などの凍結防止は済みましたか、数百年の水道管の破裂事故が起きており、多くの水が無駄になるばかりでなく、大事なときに水が使用できなくなったり、修理が間に合わず、皆さんにご迷惑をおかけすることになりますので十分注意して下さい。

新民生・児童委員

- 昭和五十二年十二月一日付で新民生・児童委員が左記のとおり決まりました。氏名 担当区域
小黒正三郎 上桐、川崎、高尾、菊子 北野、根小屋、荒巻、宇木ハナ子 中央、川端、道城、小林 芳治 新田、法善町、寺

作文特集 家庭の日

小・中学校の児童・生徒から明るい家庭づくりについて、「家庭の日」「家庭のできごと」「家族」と言う題で作文を書いてもらいました。ここに各学校三人の方々のものをほんの一例ですが紹介します。



きのことり

島田小学校二年 みやた よし子

日よう日に、おかあさんとおばあちゃんとわたしできのことりに行きました。わたしのうらの山からどこまでも行きました。とちゅうでまいてごきまかた しんばいになりまし。どんだん 山のおくにいくとだんだん こわくなってしま。大きな きりかぶの ところに。きのことりをはじめました。あちゃんが、「うめだの山まできたら。」といいました。すぎの木や 小さい木が いっぱい ありました。だんだん きのこをとって いると おばあちゃんが、見えなくなりました。いなかたので、おかあさんと わたしは、



わが家の楽しい遊び

島田小学校 三年 池浦隆之

と

ぼくの家では、しょうばいをしているのが、毎日いそがしく、とくに家庭の日としてありません。日曜日でもはたらいたり、お客様がきていそがしいので、家ぞくそろって、出かけたり遊んだり、めったにできません。でもぼくの家では、きょうだいが大ぜいいます。中学一年の兄ちゃん、小学六年のねいちゃん、ぼく、それに小学一年のあつしで四人です。ぼくたちは、いろいろなことをして遊びます。たとえばゲーム、パッチ、しよぎ、野球、ぼくたちがつくったくじびきです。ぼくの一番組とくいなのは、人生ゲームです。ぼくは、いつも「おく万長者」になつてかちますが、弟のあつしは、いつも負けます。負けるとおつしはくやしそうです。しよぎは兄ちゃんとする時は、ほとんど負けます。だからしよぎになつて、兄ちゃんを、負かしてみたいのです。あつしは、しよぎが上手なのでよく見ていっしよぎが負けないように、負ける時がよくあります。ぼくがかつているので「王手」・・・

今年の春は、東京へつれていくてくさいました。動物園では、パンダを見る予定でしたが、うんわるくお休みでした。ぼくたちはパンダをみたことが一度もないので楽しみにしていたのに、がっかりでした。おばちやまは、日曜日や、はれた日は、こんざつして見るのたいへんだから、雨のふつている日にいくと、らくらくと見れると、いっていました。パンダを見るのは、なかなかたいへんだな—と思ひました。デパートでは、人がこんざつして、とき時、だれかが見えなくなつて、さがし合いました。またあちこちで、写しんをとりました。ぼくも、みんなをうつつしてやりました。けれど東京は、人が大ぜいいて、写しんをうつつ時でも、じゃまになつてなかなかすぐとれませんでした。また食、どうやレストランにいきました。そこもこんでいて、なかなかすが、あきませんでした。まっしてやつとで食べる、ことができませんでした。それから公園にいったり、地下鉄のつたりしました。帰りの汽車の中では、トランプやミニゲームをしたり、アイスクリームを食べたりしました。お父さんも、お母さんも、ゆつたりした気分です。来年は、どこにいくかと、ても楽しみです。

ぼくのうちの家庭の日

島田小学校 六年 宮田 清

ぼくの家は、家庭の日といつても特別、決まっています。ふつうの日曜日ではあるが、第一日曜とか、第二日曜というようにな形で決められていないのだ。それに、一カ月に、二、三回やつたり、やらなかつたりすることが多い。今月は、第一日曜に、お母さんが、カセットラジオを用意した。なぜかというお父さん、妹が自分から進んで発言しないといふことから、発言を活発にしても

方法は、カセットラジオに歌や本を読むのを、ふきこんで、いろいろ、こはどうか、などと悪い所や良い所を話し合う、やりかただ。ぼくが司会をやつた。

最初に次女が歌を歌つた。この歌は、もつとテンポが速いのに、次女は、いきを大げさにすつたり、休む時間がふつうより、長かつたので、すぐ時間が、かかつた。おもしろい歌い方になつてしまつた。

ぼくのうちに、田んぼへ出かけたいというねが、いからだと思つた。

方法は、カセットラジオに歌や本を読むのを、ふきこんで、いろいろ、こはどうか、などと悪い所や良い所を話し合う、やりかただ。ぼくが司会をやつた。

最初に次女が歌を歌つた。この歌は、もつとテンポが速いのに、次女は、いきを大げさにすつたり、休む時間がふつうより、長かつたので、すぐ時間が、かかつた。おもしろい歌い方になつてしまつた。



やひこへいつたこと

桐島小学校 一年 やまざこ

きょうは、てんきが、いいので、まえに、やくそくした、やひこへ、あそびに、いもうとといっしょに、おかあさんに、つれていって、もらいました。さいしよに、じんじやに、おまを、しました。わたしは、二つおねがいしました。それから、ほうもつでんといめずらしいものが、あるとこ

いろいろなおしゃべりをして笑ひころげることもあつた。しかし、これまでにいくつつか、やつてきた中で、いちばん楽しいのは、たんじよ会だ。それは、プレゼントがもらわれ、いろいろなおしゃべりをして笑ひころげることもあつた。そして、こんどの日曜日はなんだろかなあ、と木曜ころからまつている。

ぼくは、こんだ日曜日はなんだろかなあ、と木曜ころからまつている。

ぼくは、こんだ日曜日はなんだろかなあ、と木曜ころからまつている。

手 伝 い

桐島小学校 四年 柄沢 春明



日曜日、今日は、手伝いをする日だ。まず、畑に行つて、わらや、草をたばねた。それを、手にかかえ、家へ持つて行き、小屋の二階に上げた。こんどは、竹やぶへ入つて、ななで竹を切り、それを二つにわつて、庭にはこんだ。それをなんどもくり返した。時々、母が、「だじよぶかね。手を切るんじゃないよ。」と言つてくれた。手や体が、くたくたになつたころ、やつと、仕事が終わつて、おぼあさんに、「あれ、もう、まいつたかね。映子は向こうで、しっかりはたらいているよ。」と、言われた。すると、ぼくはうかつり、

「これからだよう。」と、負おしみを、言つてしまつた。それから、しばらくの間、おじいさんの手伝いをしていたが、つかれてしまつて、草たばねの上にねころんだ。そして、休んだあと、おじいさんの所へ行つて、竹を草のまわりに、なんべんも重ねて、それをひもでむすんで、竹がこいを作つた。ひは、だんだんとのぼつて、ものすごくあつくなつてきた。けれども、ひと仕事おわらなければ、休めないの、がんばつた。ひたいから、あせがたらたらと、出てきた。ふと、みんなの顔をみたら、目を細めて笑つているように見えた。あせがたれたいらいている。はたらいているうちに、ちよつとねむくなつてきた。



家族そろつてのトランプ

桐島小学校 六年 池田 淳子

この間の夜、久しぶりに家族みんなそろってトランプをした。父ももちろん仕事が一だんらくつき、私たちが勉強が終わるまで、テレビも白くなくなったので、「トランプでもしよう。」と言った。すぐに、みんなが賛成してくれた。

みんなが楽しく遊べるのが第一なので、最初は、かん単な「バベぬき」をした。祖母はやり方がよくわからないので、妹と組むことに決めた。始めのうちは、みんなまじめな顔をしてトランプを回していたが、数が少しになると、バベをうまく取らせてにやりとしたり、ババがきつめたりとしたり、やがて、「ババがきた、ババがきた。」と妹が大声を出すと、みんなが大笑いになり、にぎやかになっていった。一回目は父、二

父は、少しつかれたらしく、「おい、このへんで今日はやめてくか。」と言いたしたが、まだ一回も勝っていない妹、祖母の組は不満のようで、妹が、「やら、もう少しやろうよ。」と強く言いはったので、もう一回だけやることにした。

「ダウト(うそ)」というのをやった。やり方を始めに父と母に説明してやった。それでも、父はそのことばを忘れて、「何とやらなんだかな。」と考えこんだり、母があわてて表を向けて出してしまったりで、私たち二人はおかしくて笑いが止まらなかつた。始めてやる父母にとっては、まじめなのも無理もないことなだけれども、私たちはすぐにおかしくなるようどうしようもなかつた。やがて、自分の勝ち負けなど考えずに、むやみにダウト、ダウトのかけ声が続ぎ、にぎやかになった。この勝負は、幸いに妹の組が勝った。

妹が、「ばあちゃん、一回でも勝つてよかったね。」と顔をのそそきむようにして言うと、祖母も「よかつた、よかつた。」と嬉しそうだった。父が、「ああ、おもしろかつた。」と少しつかれたようなかたちで言うと、母も、「こんどまたやるか。」と楽しかつたように言った。家族そろってにぎやかに



私のお父さん

北辰中学校 一年 関川 久美子

うちの祖父の性格と好きなものをあげてみる。「やさしく」「子供みたくな面がある」「お酒とたばこが好き」で、あとは普通の、どこにでもいるような人の人です。どこにでもいるような人柄の人です。どこにでもいるような人柄の人です。どこにでもいるような人柄の人です。

私のこの平凡なお父さんは、毎朝七時三十分頃になると家を出る。夕方六時頃になると帰ってきます。同じ仕事の人のつきあいで多少帰ってくるのが遅れたりします。そんなときたまに、私や家族は、困まってしまうことがあるのです。翌日このことを話すと、覚えていると言います。だから私はいつも禁酒、禁煙を勧めます。言い遅れましたが、お父さん



我が家のこと

北辰中学校 二年 田中 恵子

ですが、あいにく私は運動オンチで、野球なんてものは、すぐへたなでいれてもらえません。こんなとき、本当に、私は男に生まれればよかつたなと思います。男なら少しぐらいへたでも入れてくれるでしょう。「お父さんも、今年で四十二才あと何年くらい野球をやっていたらいいかな」なんて考えることが最近あるのです。いつまでも、お父さんの、子供みたくいな面を見ていたいと思います。「お父さんは、やさしい人か。」と聞かれたら私は、すぐ返答することができず少し考えてから「やさしい人だ」と言うでしょう。兄や弟はすぐ「やさしい」と答えます。なぜ私にはすぐ返答できないかという、私にはまだお父さんの性格というものがわかつていないからなのです。短所をいくつか、見つけだしている。父の長所をよくわかっていないからなのです。私はお父さんを理解しているのでしょうか。兄や弟はお父さんと理解し合っているのでしょうか。いいえ、どちらも理解し合えてきていないのです。理解し合おう、わかり合おうと思っても、三年しか生きていない、子供だというハンデがあつてできないのです。ですから、私はもっと大人になつたらそのことに大きな目を向けていこうと思っています。

私の家では、朝「おはようございます。」「おはよう。」の挨拶が一日が始まる。家族の中で、いまだ挨拶なしにしないでよいと思うかもしれない。しかし、私の家では、「おはよう。」の挨拶や、「いただきます。」「ごちそうさまでした。」「おやすみなさい。」また、何かしてもらつた時には、「ありがとう。」の言葉を必ず言う。父も、母や私たちが、何かしてやった時には、どんな小さな事でも、必ず、「ありがとう。」と言う。「ありがとう。」とか「ごめんなさい。」などの言葉をかけられると、やはり、気持ちがよいもの

だ。もっともよいことをしてあげたいと思つたり、「ごめんね。」とあやまられたりすると、こちらだって悪かつたんだなと思つたりする。小さい時から、挨拶の習慣がついている。挨拶は、明るい社会の潤滑油だと言ふが、これは、家庭でも同じことだと思ふ。それから、家でやっていることに仏様をおまじりするということがある。私たちは、小さい時から、朝、保育園や、学校へ出かけるときか、外から帰つて来た時などは、みんなが必ず、仏様に挨拶をする。夕食前には家族全員をそろって、夕食を供えて、おまじりする。父や母は、いつも、「みんが元気でいられるのは、なくなった、おじいちゃん、おばあちゃんや御先祖様が守つて下さるからなんだよ。」と言う。今日も、姉が、学校の帰途、酔っぱらいに自転車をぶつけられたのを聞いて、母は、「けがはなかつたの。」と確かめて、すぐに仏様におまじりをした。また何か買つてもらつた時なども、必ず仏様のおじいちゃん、おばあちゃんに見せてから開く。このように、我が家では、仏様は、家族の一員のような存在なのだ。それから、私の家では、うさぎを飼っているが、このうさぎも、我が家のかわいい一員となつていて。そのことを少しくわしく書いてみたいと思ふ。今年の春、私が、学校の裏山から、連れてきたものだ。美術の時間、美術室の外で校舎を写生していた時、へびにもう少しのところでのみ込まれようとしていたのを助けて、家に連れて帰つたのだ。野うさぎの子は、育たないなどと野うさぎの話は、前から聞いていたのだが、親うさぎとはぐれたこんな小さなうさぎを、また、山へ逃がすも心配なので、飼うことにした。先生から、コンパスの小さな箱にうさぎを入れながら、「野うさぎの子は、育たないと言ふけれどねえ。」とおっしゃつた。私は家に持って帰つたら、父や母は、どう